



2025 年 10 月 6 日

各 位

会 社 名 萩 原 工 業 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 浅 野 和 志
(コード番号：7856 東証プライム)
問合せ先 取締役執行役員事業支援部門長
藤 田 学
(TEL. 086-440-0860)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2024年12月10日に公表した通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2025年10月期通期連結業績予想数値の修正（2024年11月1日～2025年10月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 34,000	百万円 2,400	百万円 2,500	百万円 2,230	円 銭 162.49
今回修正予想（B）	31,100	1,420	1,620	1,680	122.41
増減額（B－A）	△2,900	△980	△880	△550	
増減率（％）	△8.5	△40.8	△35.2	△24.7	
（ご参考）前期実績 （2024年10月期）	33,118	2,097	2,190	1,518	110.63

2. 修正の理由

材料費の高騰や人手不足、猛暑などのため、建設工事の遅延等が生じていること、米国の関税政策の影響で、国内外の設備投資に慎重姿勢が見られることなどにより、各種製品で需要が弱含んでおり、従来の予想以上に収益を圧迫する状況が続いていることが、業績予想修正の主たる理由であります。

以下、当社セグメント別の業績予想の前提を説明いたします。

<合成樹脂加工製品事業>

当連結会計年度の業績予想は、当初の予想に対し売上高 1,425 百万円の減収、営業利益は 660 百万円の減益と見込んでおります。

これは主に、建設工事の遅延等により建設資材需要の低迷が予想以上に継続し、シート製品等の

売上回復の兆しが足元でも見えない状況です。またコンクリート補強繊維「バルチップ」については、海外の鉱山市場における価格競争の激化を受けて販売戦略の見直しを行ったものの、販売数量の回復に時間を要していることに加え、9月上旬に発生した納入先の鉱山事故の影響も生じております。

猛暑に対応した遮熱シート等、機能性を高めた製品の拡販に努めることに加え、バルチップにおいては海外のインフラプロジェクト向けの営業に注力し、業績改善を進めてまいります。

<機械製品事業>

当連結会計年度の業績予想は、当初の予想に対し売上高 1,475 百万円の減収、営業利益は 320 百万円の減益と見込んでおります。

これは主に、世界的な二次電池の供給過剰による投資縮小や、食品・飲料の値上げに伴う包装材メーカーの業況悪化の影響等で、関連製品の需要が減退したことによります。また一部製品で顧客都合により売上の次期へのずれ込みが発生しております。

需要の底堅いリサイクル関連機器や新事業の金属箔用スリッターの拡販に努めることなどにより、業績改善を進めてまいります。

なお、配当予想については、変更ございません。

上記の予想は、現時点で得られた情報に基づいて算定したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上